

## 精子のはなし

科目責任者 藤ノ木 政 勝  
 学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

様々な理由により思った様に子を授からないカップルにおいて生殖医療は大切な選択肢になっている。しかしこれまでの経緯から女性の生殖機能に注目が集まり、それに比べて男性の生殖機能はさほど注目されずに来た。しかし最近になって精子の質が問題にされるようになってきているが、「良い精子とは？」という問いに対する答えはまだない。そこで雄性（男性）配偶子である精子について、その発見の科学史から生理機能にいたるまで広く精子というユニークな細胞について学ぶ。

## II. 担当教員

藤ノ木 政 勝（実験動物センター）

## III. 一般学習目標

- 1) 精子が発見される過程を知り、生殖・生命についてどの様に考えてきたかを学ぶ。
- 2) 精子がどの様に分化してくるのかについて学ぶ。
- 3) 精子の生理機能について学ぶ。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 生殖・生命についての考え方を理解する。
- 2) 精子の形態・生理について理解する。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）  
 2：ディスカッション， デイバート 3：グループワーク 4：実習， フィールドワーク 5：プレゼンテーション  
 6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	8	23	水	5	精子の発見	藤ノ木 政 勝	1
2		30	水	4	精子の構造	藤ノ木 政 勝	1
3	9	6	水	4	精子形成	藤ノ木 政 勝	1
4		13	水	4	精子の運動機能	藤ノ木 政 勝	1
5		27	水	4	精子受精能獲得	藤ノ木 政 勝	1
6	10	4	水	4	精子の受精調節	藤ノ木 政 勝	1
7		11	水	5	精子の研究	藤ノ木 政 勝	1

## VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

出席状況と受講態度， および講義内での質疑応答で評価する。

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

教科書などは特に指定しない。講義プリントを配布する。

Ⅷ. 質問への対応方法

随時受け付ける。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	○
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	◎
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

質疑応答に関して講義の中でフィードバックする。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載

XII. コアカリ記号・番号

D-9-1) ④